

人気サロンのスタイリスト3人に聞く！ 2023年秋のおすすめカラーとトレンド予測

Aug 24.2023

毎年、新しいトレンドが生まれ続ける美容の世界。カラーのトレンドもどんどん変化しています。そこで今回は、人気サロンの美容師さん3人が、2023年秋におすすめするカラーを紹介。また、そのカラーに注目する理由やポイントなど、「カラートレンド予測」を教えていただきます。

透明感とくすみ感がポイント！ トレンドの寒色ファッションに合わせた、深みあるオリーブグリーンに注目――amie hair room 堀田 茜さん



■ レシピ

【Before】	9Lv
■新生部	10オークル：8ベイリーフ＝1： 3 1剤：2剤＝1：1（OX6%）
■既染部	8オークル：6ベイリーフ＝1：1 1剤：2剤＝1：1（OX2.8%）

すべて「カラーストーリー　アドミオ」（医薬部外品）
※比率は組み合わせ比　※1剤：2剤は混合比

■おすすめカラー｜ファッションカラーからグレイカラーまで幅広い年齢層にピッタリ！肌なじみ抜群のオリーブカラー

透明感があり、肌なじみの良いオリーブグレージュ。軸にしたベイリーフはアンダーの赤みを抑え、グリーンの色みを表現してくれるカラーです。オークルを組み合わせることで、やわらかな質感と深みのあるカラーに仕上げました。落ち着いた印象で色みも楽しめるので、ファッションカラーはもちろん、グレイカラー層の大人女性にもおすすめ。グレイカラーの場合は、白髪がしっかり染まるよう、新生部の10オークルを5オークルに変えましょう。

肌なじみの良い寒色なので、ブルーなど寒色系のファッションとの相性が抜群。爽やかな印象を引き立てながら、肌を自然に明るく見せてくれます。程良いくすみ感でやわらかな印象になるので、パーマや巻いたスタイルと合わせるとよりふんわり感が引き立ちます。また、オークルをチャコールに変えると、よりスモーキーでクールなオリーブアッシュに。お客様のイメージに合わせて選定してみてください。

■ トレンド予測｜トレンドの服の色に合わせて。この秋は赤みを抑えた透明感と深みの表現がポイント

2023年の秋は寒色の服装がトレンド。そこで、ヘアカラーも寒色系のグレージュカラーがトレンドになると見ています。中でも注目しているのが、透明感を表現できるオリーブグリーンをベースにしたカラーです。

また、秋から冬にかけては、ボリュームのある服装が多い季節です。そこでヘアカラーは落ち着いた色みでボリューム感を抑えつつ、透明感と肌なじみの良さで暗くならないようにしてバランスを取りたいところ。アンダーの赤みを抑えて透明感を表現しながら、くすみ感を加えることで、深みある肌なじみの良い色をつくりましょう。

Profile



堀田 茜　Akane Hotta

amie hair room 店長

2018年にamie hair roomに入社し、アリアーレビューティー専門学校通信科で美容師資格を取得。2023年4月より店長を務める。内巻きやミニなどのボブスタイルが得意。お客様の髪や頭皮のお悩みが解決できるようなスタイルのご提案や、自宅でのケア方法、スタイリングの仕方をお伝えし、日々のお手入れが楽になるように心掛けている。

Instagram：@amie_hairroom

> 初めてのブリーチカラーでも取り入れやすく、周囲の人とは一味違う。ベージュのポイントカラーがおすすめ！ ――ROSSO santé 小林 明彦さん



■ レシピ

※いずれもポイントカラー部分のみ

【ベース】	アリミノ　ブリーチ　120 1剤：２剤＝1：２（OX6%） ※17Lvまでトーンアップ
■ブリーチ部と新生部のつなぎ	8オークル 1剤：2剤1：1.5（OX2.8%）
■ブリーチ部	CLEAR：10オークル：10シエナ＝4：3：1 1剤：2剤＝1：1.5（OX2.8%）

すべて「カラーストーリー　アドミオ」（医薬部外品）
※比率は組み合わせ比　※1剤：2剤は混合比

■ おすすめカラー｜どんな服装にも合わせやすい！ ニュートラルなベージュのポイントカラー

暖色にも寒色にも寄らないベージュで、自然体だけれど印象強いポイントカラー。ブリーチ部分は放置時間1時間で、できる限りベースのトーンを上げています。しっかりコントラストをつけてインパクトを出すことを狙いました。オンカラーはオークルを軸にしてアンダーの赤みを抑えつつ、シエナを組み合わせることで青みに振られすぎないニュートラルな色みをつくり出しました。

ポイントカラーを入れる割合や箇所は、お客様の印象やヘアスタイルに合わせて調整しましょう。単なるインナーカラーでおさまらないようにすること、顔まわりの印象をつけるよう、バックよりもサイドから前にかけて多めに入れるのが鍵です。合わせるスタイルは、ポイントカラーが華やかに映えるショートやボブがおすすめ。ブリーチ部分のパサつきを抑えて艶を感じられるよう、オイルで仕上げると良いですよ。

■ トレンド予測｜続くハイトーンカラー人気。デビュー戦でもチャレンジしやすく、生活になじみやすいことがポイント

ここ数年はハイトーンカラーの人気が続いており、その傾向は2023年の秋も続くと見ています。中でもトレンドの中心になると見ているのが、暖色にも寒色にも寄らないニュートラルなベージュです。

SNSによって、この2〜3年ほどでダメージに配慮したブリーチ施術の認知が広がってきました。また、インナーカラーをはじめとするポイントカラーも定番化してきたので、「全頭はちょっと勇気がいるけ

れど、ポイントなら」とハイトーンにチャレンジする方が年代を問わず増えている印象です。そこで、ハイトーンカラー初心者の方には、どんなファッションにも合わせやすくて肌なじみの良い色みを抑えたブリーチカラーをおすすめしています。

まずはニュートラルな色みでハイトーンカラーに慣れていただく。そうして、2度目・3度目とハイトーンを繰り返し楽しむようになってきたら、気になる色みを試してみる、ヘアデザインに合わせてファッションスタイルも変えてみるなどのご提案をしていけると、お客様も美容師側も楽しめますよ。

Profile



小林 明彦　Akihiko Kobayashi
ROSSO santé　店長

福島県出身、国際文化理容美容専門学校渋谷校卒業後、2010年ROSSO（ロッソ）入社。2021年よりROSSO santé（ロッソ サンテ）の店長を務める。「自分たちが熱を持って、お客様をドキドキワクワクさせていたい」という想いを大切に、“自身とお客様の2人だからできるデザイン”を常に志向している。その明るくアクティブな人柄が、お客様から親しまれている。

Instagram：@kobayashi_akihiko

屋内と屋外での印象の違いを楽しむ！ 落ち着いた印象のオリーブグレーに注目――NOBODY rin. 岩井 八眞さん



■ レシピ

【ベース】	14ライトナー 1剤：２剤＝1：２（OX6%） ※10〜12Lvまでトーンアップ
■オンカラー	8チャコール：8 ベイリーフ：5アクア＝5：5：1 1剤：2剤＝1：1.5（OX6%：2.8%＝1：1）

すべて「カラーストーリー　アドミオ」（医薬部外品）
※比率は組み合わせ比　※1剤：2剤は混合比

■ おすすめカラー｜わずかに組み合わせるアクアがポイント！ 艶感と色みで大人女性を引き立てるオリーブグレー

暗めのトーンでも光が当たると鮮やかに感じる秋らしいオリーブグレー。チャコールをベースにすることで、ムラが出にくくきれいな染まり上がりになります。そこへわずかにアクアを組み合わせることで、チャコールに含まれる若干の赤みを抑え、ベイリーフの緑みがより強く感じられるように。どの程度ベイリーフの緑を際だてたいかによって、アクアの量は微調整しましょう。

品のある落ち着いた印象で、暗めでも透明感とやわらかさがあるので、ショートヘアとの相性が抜群。光が当たると印象が変わるので、ミディアムのくびれスタイルやレイヤーが入っているような、少し動きがあるスタイルにも合います。また、グレイカラーにもおすすめ。グレイカラーにする時は、根元をオークルとベイリーフで仕上げると、白髪まできれいに染まりますよ。

■ トレンド予測｜ショートとの相性が良い透明感のあるカラー。落ち着いた印象でも、重くならないことがポイント

2023年の秋は暗めでも透明感のある、オリーブの色みがのったグレー系のカラーに注目しています。この夏までは、ナチュラルなベージュ系やピンク系のカラーが人気でしたが、季節の変わるタイミングで変化を求めるお客様が増えるでしょう。そこで、落ち着いた印象で品があるカラーが人気になると見ています。

ポイントは、暗めのトーンでもしっかり色みを楽しめること。オリーブグレーは品があり落ち着いた印象になりながら、光が当たるとオリーブの色みを感じられ、艶感もあるので、重くなりすぎないのが特徴です。上品な印象にしながら重くはしたくないという、ショートスタイルの大人女性に特におすすめですよ。

Profile



岩井 八眞　Yamato Iwai

NOBODY rin. 代表

長野県出身。タカラ美容専門学校卒業後、都内サロンを経て、2019年7月に26歳でオープニングスタッフとしてrin.へ参加。2022年8月、NOBODY rin.オープンに伴い、代表に就任。顧客の8割がショートスタイルのお客様。女性らしさを引き出す圧倒的な似合せ施術力と再現性の高さで、幅広い世代の大人女性から支持を得ている。

Instagram：@rin._hair_nadechan

ARIMINO